

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス シュエット南柏教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を丁寧に実施しており、個別支援計画の作成から日々の支援まで一貫した支援体制が構築されている。職員間の情報共有は、朝礼や社内SNS等を活用し迅速かつ的確に行われており、チームとしての連携が取れている。	社内SNSや朝礼を活用したリアルタイムな情報共有 個別支援と集団支援を組み合わせた支援設計	支援内容の向上と職員教育 ICTツールを活用した情報共有・業務効率化
2	保護者との情報共有について、日々の連絡や面談を通じて密に行われており支援内容への理解や満足度が高いこと。	保護者との密な連絡(毎日の報告・コミュニケーション)	利用者の声を改善に反映する
3	レク活動について職員間で立案・検討を行う体制が整っており、子どもの発達段階に応じた柔軟な支援が実施されている。加えて、研修機会の確保など、支援の質を維持・向上させる基盤が整っている。	レク活動を職員主体で立案し、チームで改善する仕組み 外部講師を招いた研修や法人内研修の実施	外部専門機関との連携強化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さに対する課題 一カ所に集まる活動の時間帯などは余裕がなくなる	利用児童数に対する環境の最適化が追いついていない	スペースの使い方の改善、最適化
2	業務改善におけるPDCAサイクル(支援の振り返りやケース会議の実施)が不定期である	日々の業務に追われ、振り返りや会議の時間確保が不十分	PDCAサイクルの明確化 定期的なケース会議や振り返り時間の確保
3	保護者向けの家族支援(ペアレントトレーニング等)の機会や保護者同士の交流の機会が少ない	家族支援や地域連携の優先度が相対的に低くなっている	家族支援プログラムの構築 地域との連携機会の創出